

東日本大震災復興支援プロジェクト

第13回活動報告



今年度3回目となった第13回活動は、職員6名と職員家族1名の他、初めてJA女性部からも4名参加していただき、宮城県東松島市で実施しました。

継続的に訪問している新東名地区しんとうなには、損壊して使われなくなった民家を修復・活用した交流施設が新たに完成しており、前回はその敷地内に畑を新設する作業を行なっています。今回は雨が降りしきる中、同敷地の草むしり作業と畑の拡大などに取り組みしました。

『復興支援カフェ』と名付けられた同施設には地元の人達が自由に出入りすることができ、交流や

情報交換の場となっている他、全国のボランティアが地元の子ども向けのイベントを企画するなどして被災地を盛り上げています。なお、今回は地元のご厚意で全員分の昼食をふるまっていたいただき、さまざまなお話も伺いました。

8月4日にはこの施設周辺で夏祭りが企画されており、JA鶴岡復興支援プロジェクトでも何かしらの協力を予定しています。

また、7月1日にはJA女性部大泉支部の方々が現地視察を予定しており、プロジェクトでは当日のコーディネートなどで協力する予定です。



【写真上】熟練の鋤さばきで周囲を唸らせる農業支援室長（左）。
【写真中】ミニトマトの苗を植えました。
【写真下】今回より女性部の方々も参加いただきました。雨の中お疲れ様でした。

『活動の概要』

【活動日】6月16日（土）【活動地】宮城県東松島市

【参加者】鈴木 大亮（総合戦略室）、伊藤 千花子（企画総務課）、佐藤 浩市（経理システム課）、金内 恭子（本店営業課）、福原 英喜（農業支援室）、加藤 晃子（大山支所）、加藤 啓子（一般参加）、松浦 繁子（JA女性部・南支部）、阿部 秀（JA女性部・南支部）、松浦 節（JA女性部・大泉支部）、佐藤 明子（JA女性部・北支部）